

見守り活動の役割とこれから ～見つめあい、ささえあい、 つながりあえる地域活動～

日時

平成30年10月22日(月)

<開催時間>午後1時30分～3時30分

<受付> 午後1時～

入場無料

手話通訳あります

会場

大阪市立西区民センター 1階ホール

西区北堀江4-2-7 (電話：06-6531-1400)

●第1部● 午後1時30分～2時35分

基調講演「見守り活動の役割とこれから」

講師：鈴木 大介 氏

(神戸医療福祉大学 社会福祉学部 准教授)

●第2部● 午後2時40分～3時30分

パネルディスカッション

～これまでの活動で見えてきたこと、大切なこと～

コーディネーター 鈴木 大介 氏

パネリスト

○西船場地域見守りコーディネーター

○西六地域社会福祉協議会会長

○民生委員児童委員 堀江地区委員長

○千代崎地域社会福祉協議会会長

○九条東地域見守りコーディネーター

志水 千佳 氏

田深 欣寛 氏

佐野 保子 氏

松野 章宏 氏

田中 日出子 氏



災害時に役立つ

記念品を

先着200名様に
ご用意しています！

共催：社会福祉法人 大阪市西区社会福祉協議会
大阪市西区役所

【講師・コーディネーター】
鈴木 大介 氏

神戸医療福祉大学 社会福祉学部 准教授
専門は地域福祉。中でも、小地域福祉活動や、地域福祉計画、地域のまちづくりなどを主たる研究テーマとしている。
最近の学会研究活動としては「小地域活動における活動主体別にみた新たな人材の主体的な参画及び育成の視点」などがある。

レゴブロックは、大きさも形も色も違う数々のブロックが集まり、それぞれの持ち場で自分を発揮しあって1つの作品を作っています。僕の顔をあしらったレゴ作品はまさにそうです。私たちの目指すささえあいのまち作りも同じ側面があり、それぞれ規模も形態も特色も違う多くの主体があつまり、それぞれの力を発揮しながら（連携協働しながら）、ささえあいの町（誰もが排除されることのない住みよい町）を作っていきます。



● 要援護者名簿の作成・地域の見守り活動へのつなぎ

行政と地域が把握する要援護者情報を集約し、地域等との情報共有についてご本人同意の確認と名簿の作成をしています。同意返信の方へは、各地域にお住いの見守り員の皆さんが定期的に訪問や電話で見守り活動を行っています。また、未回答の方へ向け、相談室より随時訪問も行っています。

【見守り対象者は下記のとおりです】

- 高齢者(要介護3～5、要介護2以下で
認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の方)
- 身体障がい者 [1・2級]
- 知的障がい者 [A]
- 精神障がい者 [1級]
- 視覚障がい・聴覚障がい [3・4級]
- 音声・言語機能障がい [3級]
- 肢体不自由
(下肢・体幹機能障がい) [3級]
- 難病をお持ちの方



【お問い合わせ】

大阪市西区社会福祉協議会
大阪市西区新町4-5-14
西区役所合同庁舎6階
電話 06-6539-8075
FAX 06-6539-8073
メール mimamori@nishi-fukushi.or.jp



見守り相談室
マスコットキャラクター
きずなちゃん

